

平成 26 年度事業計画

(1) 糖尿病の予防及び治療に関する正しい知識の普及啓発事業

- 1-1 「糖尿病ライフさかえ」の発行
月刊の協会誌として、患者、家族、糖尿病予備群および療養指導者に対する糖尿病の正しい知識の情報提供と啓発を行う。12冊／年発行する。
- 1-2 糖尿病関連書籍の発行
「糖尿病食事療法のための食品交換表」、「糖尿病食事療法のための食品交換表活用編」、「糖尿病性腎症の食品交換表」、「糖尿病治療の手びき」を発行する。
- 1-3 全国糖尿病週間の実施
11月10日から16日の一週間を全国糖尿病週間とし、日本糖尿病学会との共催で、厚生労働省、日本医師会、日本放送協会、日本糖尿病財団、日本歯科医師会の後援を得て、各都道府県糖尿病協会を中心に糖尿病に関する講演会、血糖測定、医療相談、栄養相談の事業を実施する。糖尿病週間の標語も公募する。
- 1-4 糖尿病シンポジウム等のイベントの実施
 - ・「糖尿病シンポジウム」を2ヶ所（島根、神奈川）で開催するほか、マスコミ(新聞)等の協力を得て糖尿病に関する正しい知識の普及啓発を行う。
 - ・日本糖尿病財団との共催により「糖尿病予防キャンペーン」を秋田で開催する。
- 1-5 世界糖尿病デー関連のイベントの実施
11月14日「世界糖尿病デー」において、日本糖尿病学会・本協会にて構成する世界糖尿病デー実行委員会に協力し、各地での世界糖尿病デーの認知向上と糖尿病知識の普及啓発活動を推進する。
- 1-6 Team Diabetes Japan
国内外のマラソン大会等への参加を通じて、糖尿病予防や治療についての知識啓発を行う。
- 1-7 ウォークラリーの実施
運動の重要性を周知する目的で、企業との共催で全国でウォークラリーイベントを実施する。
- 1-8 HbA1c 認知向上運動の実施
糖尿病治療で重要な指標の認知向上のため、企業との共催で長崎と和歌山でイベントを実施する。
- 1-9 「DM Ensemble」の発行
糖尿病療養指導者（主に日糖協登録医、歯科医師登録医、コメディカルスタッフ）を対象とし、糖尿病治療の最新情報を提供する「DM Ensemble」を4冊／年発行する。糖尿病療養指導において核となるコメディカルスタッフやかかりつけ医育成に役立つ雑誌を目指す。また、日糖協療養指導学術集会の報告集は、DM Ensemble 増刊号として発行する。
- 1-10 登録医・療養指導医・歯科医師登録医制度の展開
日本糖尿病協会登録医・療養指導医制度並びに日本糖尿病協会歯科医師登録医制度を推進し、専門医とかかりつけ医、歯科医師との連携強化を図る。
- 1-11 日糖協 CDE ネットワークの運営
糖尿病チーム医療を支援するため、CDE ネットワークの質・量の拡大を図る。地域糖尿病療養指

導士養成団体に補助金を支出するほか、規約・認定試験問題の提供を通じて活動活性化と養成団体の新規設立を支援する。

1-12 糖尿病カンバセーション・マップ™を活用した療養指導の普及

IDFが推進する糖尿病教育用ツール「糖尿病カンバセーション・マップ™」の普及を図る。カンバセーション・マップ™を使用して療養指導を行うスタッフを育成するためのトレーニングを多様化し、質の高いファシリテーターの育成に努める。イントロダクション、アドバンスなど、レベル別の講習会をあわせて全国20か所程度で展開する。

1-13 新しい糖尿病運動療法ブルーエクササイズの普及

ブルーサークルを用いた新しい糖尿病運動療法ブルーエクササイズの普及を図るため、患者・予備群への指導を行う医療スタッフを育成するためのプログラムの実施に向けた検証を行う。

1-14 日糖協療養指導学術集会の開催

糖尿病療養指導者の教育と情報交換を行う目的で、療養指導学術集会を開催する。ディスカッションによる職種間の相互理解を深め、糖尿病療養指導のコンセンサス確立を目指す。

1-15 地域での医療従事者対象啓発活動の支援

登録医・療養指導医・歯科医師登録医・CDEを対象とした講習会をはじめ、医療従事者を対象とした糖尿病に関する適正医療の普及・啓発に向けた地域での活動を支援する。

(2) 糖尿病の予防及び治療に関する調査・研究事業

2-1 調査研究

- ・インスリンアナログ混合製剤1日2回投与あるいは持効型溶解インスリンアナログ製剤1日1回投与によるインスリン導入の検討
- ・経口糖尿病治療薬(インクレチン関連薬を含む)投与に関する実態調査研究 (UNITE Study)
- ・65歳以上の高齢者2型糖尿病における、シタグリプチンあるいはグリメピリドによる有効性および安全性に関する比較検討試験 (START-J)
- ・インスリン製剤とシタグリプチン併用による有用性の検討 -前向き観察研究- (I-UNITE Study)
- ・トログリフロジンの安全性および有効性の検討-前向き観察研究- (AYUMI)

2-2 よりよい医療の提供に向けた、血糖値をはじめとする糖尿病患者のデータの集積・解析 (EDDP : Electronic Diabetes Data Project)

2-3 インスリン注入器の仕様共通化および血糖自己測定機器も含めた適切な使用手技の普及および企画の統一化に向けた活動

2-4 糖尿病に関する基礎的・臨床的な研究を行う若手研究者に対する助成

(3) 糖尿病の患者及び家族に対する療養指導事業

3-1 糖尿病友の会の活動支援

全国の糖尿病友の会の活動を活性化するための施策を実施し、会員の療養生活や会員相互の交流を支援する。また、友の会活動を核として地域の糖尿病対策に貢献できる人材育成を目指す。

3-2 糖尿病療養に役立つグッズ、冊子類の発行

糖尿病連携手帳、自己管理ノート、IDカード、英文カード等の一層の利用拡大を目指す。また、これらの資材の電子化を進める。その他「インスリンポンプ使用者のための CSII ノート」「注射手技ガイド」等の冊子を発行する。

3-3 1型糖尿病対策

・小児糖尿病サマーキャンプの支援

小児1型糖尿病患者に正しい治療を習得・実践させるために、小児糖尿病生活指導講習会(サマーキャンプ)に対する支援を行う。

・小児糖尿病サマーキャンプカンファレンスの実施

小児糖尿病サマーキャンプの標準化とレベルアップを図るため、全国のキャンプ実施責任者の会議「サマーキャンプカンファレンス」を開催する。

・第13回全国ヤングDMカンファレンスの開催(徳島県担当)

協会活動における若手の育成や各支部内外における1型ヤング活動の活性化と連携を図る。

3-4 小児2型糖尿病対策事業

小児2型糖尿病および肥満の患児の教育事業の展開を検討する

3-5 インスリンケアサポート事業

小児から大人まで、あらゆる世代の1型糖尿病およびインスリン治療中の患者が持つ様々なニーズに対応する。日常生活でのインスリンによる療養から、震災など非常時のリスクマネジメントまで、様々な状況下でのインスリン治療に関する啓発を行う。各地の医師会、薬剤師会等の協力を得て、防災意識啓発用ミニチラシの配布を実施する。

(4) 糖尿病に関する海外関係団体との連携事業

4-1 IDF、IDF-WPR

・11月に開催されるIDF-WPR Council Meeting(シンガポール)に出席し、日本での糖尿病対策活動を紹介する。

・IDF-WPRが実施するアジア地域のフットケア事業への協力を行う。

・国際糖尿病基金を活用したIDF-WPR、AASDの活動支援、およびアジア地域での調査研究を含めた糖尿病対策の支援を行う。

4-2 AASD

事務局業務、年次学術集会(シンガポール開催)の支援を行う。

4-3 国際交流研究奨励賞

若手研究者の研究奨励と国際交流を促進する目的で、褒賞を行う。

(5) その他本協会の目的を達成するために必要な事業

5-1 会員増強

日本糖尿病協会の会員増強の活動を継続推進する。

5-2 他団体との連携

- ・ CDEJ および地域の CDE 組織との連携強化
各地で組織されている「地域糖尿病療養指導士」養成団体と連携し、CDE ネットワークによる地域の CDE の育成協力と活動支援を行う。
- ・ 日本歯科医師会との連携強化
歯科医師登録医制度を拡充するため、日本歯科医師会とのさらなる連携を促進する。
- ・ 日本糖尿病対策推進会議への協力
日本糖尿病対策推進会議の幹事団体として、国内の糖尿病啓発事業を実施する。
- ・ 日本介護支援専門員協会との連携強化
高齢の糖尿病患者の生活を支援する目的で、日本介護支援専門員協会と協力して介護職に対する糖尿病教育を実施するなど、医療と介護の連携を目指す。地域の医療者と介護者の情報交換を促進するための勉強会を全国で展開する。
- ・ 結核予防会との連携
結核予防会と連携して、非感染性疾患（NCD）による社会的な脅威を取り除くことを目標とした国際的な取組である NCD アライアンスの日本国内での推進をはかる。
- ・ 健保連・全労済との連携強化
健診時の啓発活動などを通じ、就労者の糖尿病対策を推進する。

5-3 災害時危機管理対策

大規模な自然災害などに備える目的で、行政・企業等と連携して危機管理体制を構築する。また、糖尿病患者に対する危機管理の意識付け教育を行う。

5-4 広報事業

- ・ 日糖協の認知度を向上させ事業効果を高める目的で、マスメディアに対する広報活動を強化する。プレスリリースの発信（10 回程度）やメディアセミナー等を実施する。
- ・ ホームページ、facebook、メールマガジンでの情報発信
一般市民、糖尿病患者、予備群、医療従事者に対し、糖尿病の正しい知識の啓発を行うとともに、協会事業、入会の案内等の情報を掲載し、日本糖尿病協会の認知度向上を目指す。

その他

その他当協会の目的を果たすために必要な事業を、理事会の承認のもと実施することとする。